

群馬県民の観光旅行に関する意識調査

群馬経済研究所研究員 井草祐美

調査のポイント

コロナ禍で観光旅行の実施実態や観光旅行に対する意識に変化が生じていると推測されることから、群馬県民を対象にアンケート調査を実施した。

要約

1. 過去1年間で観光旅行に「出かけた」と回答した人は3割超だった。今後1年間で観光旅行に「出かける」と回答した人は3割に届かず、「未定」が約5割と、多くが態度を決めていなかった。
2. 過去1年間の観光旅行の目的地では、「群馬県」が約7割で突出した。今後1年間の観光旅行の目的地でも、「群馬県」は約7割と高い割合であったが、県外の割合が高まり、遠方に出かける意向が強くなった。
3. 観光旅行に「出かけない」と回答した人の主な理由は、過去1年間、今後1年間ともに「新型コロナウイルス感染症が収束していないから」であった。
4. 観光旅行で行きたいところ、体験したいことに関する自由回答では、「北海道」や「沖縄」といった観光地のほか、「海外」や「温泉」といった単語が多くみられ、従来のような旅行ニーズが感じられた。
5. 新型コロナウイルス感染症が収束した場合には、観光旅行に「出かける」が7割を占め、旅行意欲が旺盛なことが確認できた。早いタイミングでコロナ禍が収束し、多くの人が旅行を楽しみ、観光産業が活況を取り戻すことを期待したい。